

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 守恒 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。また、運動会が5月下旬に実施されたため、調査までの期間は運動会練習しか行っておらず、ICT授業を使った体育の授業は行っていないため、調査結果には表れていません。年間を通しては、ICTを活用しながら教育活動を行っています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

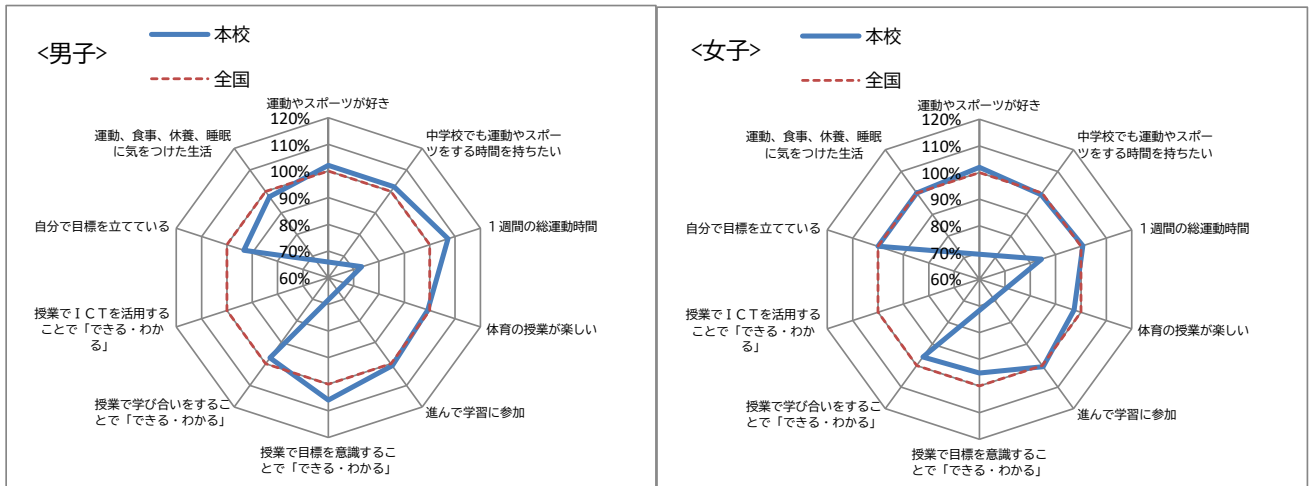
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09
本校全国平均以上の種目	○	○	○		○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98
本校全国平均以上の種目			○		○			○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

男子は全国平均を上回っている種目が多く、女子は、瞬発力系以外の種目で全国平均を上回っていることが分かった。「運動やスポーツが好き」という児童が多く、体育の授業や体育の授業以外にも積極的に運動している児童が多いということが分かった。体育の授業では、子どもたち同士で教え合いながら仲間と楽しく学び、自分の目標に向かって進んで運動に取り組む姿勢を今後も大切にしていこうとする。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

各学年の実態に応じてICT機器を使いながら、「できた」「分かった」という場面を増やし、子どもが楽しく運動に取り組むための授業の工夫を行うようにする。また、子どもたちが目標に向かってよりよい体の動きができるよう、クラス対抗で競い合いながらできる取り組みも進めていくようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

今年度は「6年生と体力アップ週間」を行い、各学年ごとにいろいろな動きを取り入れたスポーツを6年生と一緒にやった。来年度は、単発的ではなく継続的な体力アップに向けた取組を行っていきようにする。また、瞬発力系の動きが身に付けられるような運動も積極的に取り入れていくようにする。